

愛知民報

2017年
12月24日
第2380号
(1月7日号と合併)

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番27号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月 400円 郵送料160円 1部 100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を
周りの人に

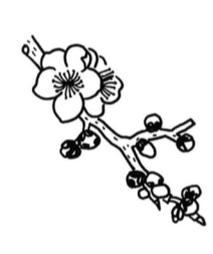
2018年 賀正

2018年は、9条改憲、社会保障大改悪、労働法制改悪、消費税10%増税をねらう安倍自公政権と、平和・生活向上を願う国民・県民が対決する年です。日本共産党の、すやま初美参院愛知選挙区予定候補と新美加寿奈市民連合@愛知呼びかけ人が、総選挙の経験と、愛知で市民と野党の共闘をすすめる「新しい時代」の展望を語り合いました。



市民連合@愛知 呼びかけ人

新美加寿奈さん



大義を持って 走る人こそ

新美 本気の共闘を進めるには、「大義を持つて先頭を走る人」がどうしても必要だと感じました。共闘で出馬すると明言していた民進党議員が「希望」から出馬した愛知4区では、「市民と野党の共同候補」として共産党の西田とし子さんが立候補され、本当に勇気づけられました。私も電話かけや街頭演説に取り組みました。団地の窓から手を振ってくれ

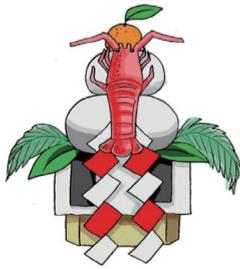
2面に続く

新しい時代を語る

安倍暴走阻止、市民と野党の共闘を前に

人がいました。すやま 共闘こそ安倍暴走阻止の希望だと伝わったんだと思います。新美 愛知1区の大野ひろみつさんのインパクトはすごかった。早い時期から民進、共産、社民、自由4党の共同宣言にも出てもらって、「自分が野党統一候補になるんだ」と訴えていました。そういう人がいざとなったら野党一本化のために

呼びかけていただいたのはうれしかった。新美 共産党が伸びないとダメだから緊急の会議を開いて決めました。なぜなら共産党が野党共闘を「縁の下」で支えているからです。長い政治活動で、困難を乗り越えてきている党だからできるんだと思いました。



日本共産党参院愛知選挙区予定候補

すやま初美さん

市民の声 共闘の推進力

すやま 新年おめでとうございます。新美 おめでどうございませう。すやま 昨年10月の総選挙はすごいたたかいでした。新美 市民連合@愛知(安保法制の廃止と立憲主義の回復を求め市民連合@愛知)が衆議院選挙をたたかう

1区の吉田つねひこさんも「改憲のテーブルにはつかない」と表明され、すぐに政策協定を結ぶことができると思います。3区の新藤さん、無所属で出られた7区の山尾さんも政策協定を結びました。必死の働きかけが実りました。すやま 立憲民主党は共闘に合意しています。市民の声が大きく後押ししていることがよくわかります。